

2007年3月期 第3四半期決算説明資料



ヴァンキュラム ジャパン株式会社

JASDAQ

Listed Company 3784

目 次

- 決算の状況【連結】
 1. 業績の概況
- 決算の状況【個別】
 1. 業績の概況
 2. 業績の変動要因
 3. 事業別売上高・売上総利益の状況
 4. 顧客別の売上高構成比推移
 5. 財政状態
 6. キャッシュ・フローの状況
 7. 主要な経営指標の状況
- 業績予想
 1. 業績予想【連結】
 2. 業績予想【個別】
 3. 業績予想の修正理由【個別】
 4. 事業別売上高・売上総利益の予想【個別】
 5. ポケットカードの運用業務終了への対策

決算の状況【連結】

1. 業績の概況【連結】

(単位：百万円, %)

		2006年12月期	
			売上比
売上高		9,244	—
売上総利益		1,877	20.3
営業利益		754	8.2
経常利益		715	7.7
四半期純利益		411	4.5

1株当たり四半期純利益	円	13,070.18	—
株主資本当期純利益率 (ROE)	%	12.6	—

決算の状況【個別】

※当社は平成19年3月期より第3四半期連結決算を実施しております。

連結子会社の当社グループ業績に与える影響が軽微なため及び前期との比較分析をおこなうため、決算内容の詳細は個別の決算状況にてご説明いたします。

1. 業績の概況【個別】

◆決算のポイント

●売上高、売上総利益、営業利益、経常利益は微増

●四半期純利益は減少（IT投資促進税制終了、減損損失）

（単位：百万円，％）

	2006年12月期			2005年12月期	
		売上比	前年比		売上比
売上高	9,244	—	100.6	9,186	—
売上総利益	1,879	20.3	104.6	1,797	19.6
営業利益	766	8.3	101.1	757	8.2
経常利益	727	7.9	100.7	721	7.9
四半期純利益	422	4.6	93.9	449	4.9

1株当たり中間純利益	円	13,397.91	—	84.6	15,829.53	—
株主資本当期純利益率 (ROE)	％	12.9	—	—	18.9	—

2. 業績変動要因【個別】

◆売上高変動要因(前年比較)・・・【57百万円増加】

<増加要因>

①プロダクト事業・・・【448百万円増加】

- ・商品管理基幹システム「MDware」(179百万円増加)
- ・CMRパッケージ「Satisfact」(160百万円増加)
- ・オープンPOSパッケージ「ANY-CUBE」(113百万円増加)

②アウトソーシング事業・・・【419百万円増加】

- ・ASPサービス(166百万円増加)
- ・システム運用・管理サービス(144百万円増加)
- ・ソフトウェア保守・ヘルプデスクサービス(107百万円増加)

③ハードウェア販売サービス事業・・・【382百万円増加】

- ・ソリューション、アウトソーシングの付帯サービス強化による売上の増加

<減少要因>

①その他事業・・・【1, 152百万円減少】

- ・前期の大型案件分をカバーできず(店舗システム導入展開サービス)

2. 業績変動要因【個別】

◆営業利益変動要因(前年比較)・・・【8百万円増加】

<増加要因>

①ソリューション事業・・・【売上総利益 234百万円増加】

- ・カードシステム分野の売上高増加

②その他事業・・・【売上総利益 64百万円増加】

- ・売上高の増加

③ハードウェア販売サービス事業・・・【売上総利益 52百万円増加】

- ・売上高の増加

<減少要因>

①プロダクト事業・・・【売上総利益 173百万円減少】

- ・不採算案件による減少
- ・パッケージ製品の償却

②アウトソーシング事業・・・【売上総利益 96百万円減少】

- ・新規顧客向けソフトウェア保守サービスの保守業務の増加
- ・ASPサービス用等の設備投資によるコスト増加

③販売費及び一般管理費の増加・・・【費用 73百万円増加】

- ・営業部門の体制強化による人件費の増加(36百万円)

3. 事業別売上高・売上総利益の状況【個別】

(単位:百万円, %)

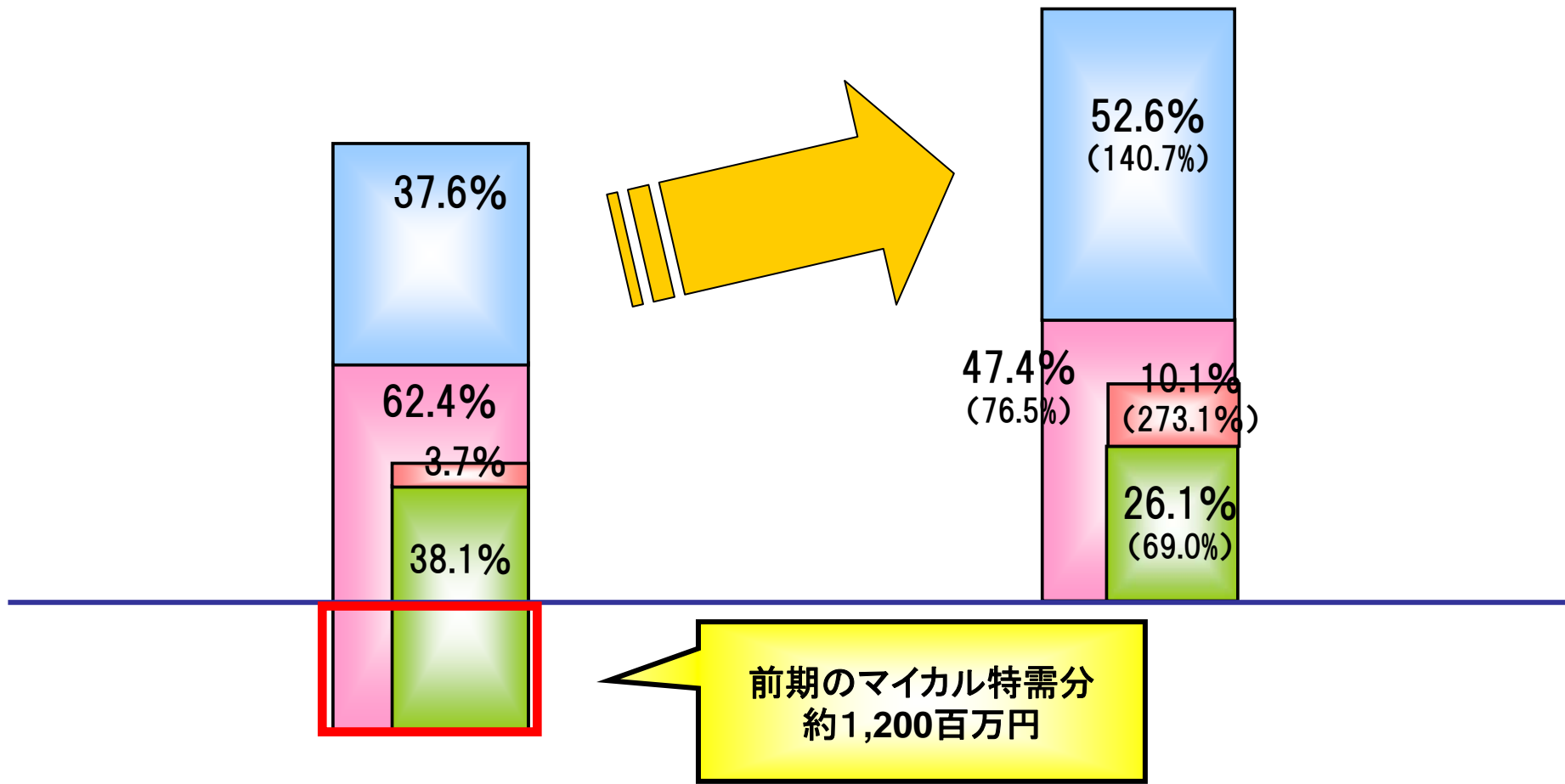
		2006年12月期			2005年12月期	
			構成比	前年比		構成比
アウトソーシング事業	売上高 (売上総利益率)	4,561 (23.5)	49.4	110.1	4,142 (28.1)	45.1
ソリューション事業	売上高 (売上総利益率)	2,116 (20.2)	22.9	98.1	2,156 (8.9)	23.5
プロダクト事業	売上高 (売上総利益率)	1,016 (11.4)	11.0	178.9	568 (50.9)	6.2
ハードウェア販売サービス事業	売上高 (売上総利益率)	954 (10.5)	10.3	166.9	571 (8.4)	6.2
その他事業	売上高 (売上総利益率)	595 (27.9)	6.4	34.1	1,747 (5.8)	19.0
合計	売上高 (売上総利益率)	9,244 (20.3)	100.0	100.6	9,186 (19.6)	100.0

※前期まで、その他事業に含めておりました「ハードウェア販売サービス事業」は、売上高全体に占める構成比が10%を超えたため、当期より別記しております。

4. 顧客別の売上高構成比推移【個別】

2005年12月期
売上高 9,186百万円

2006年12月期
売上高 9,244百万円



イオングループ

 マイカル

 イオン

 その他の顧客

(カッコ内は売上前年比)

5. 財政状態(前期末比較)【個別】

【貸借対照表】

(単位：百万円)

区分	2006年12月期		2006年3月期
		前年差	
流動資産	4,080	△807	4,887
固定資産	1,392	△155	1,548
(有形固定資産)	239	△59	298
(無形固定資産)	864	△112	976
(投資その他の資産)	289	16	272
資産合計	5,473	△962	6,436

流動資産

- ・現金、売掛金の減少(▲937百万円)
- ・仕掛品、商品の増加(166百万円)

固定資産

- ・償却費の計上(▲155百万円)

流動負債

- ・仕入債務の減少(▲811百万円)
- ・未払法人税の減少(▲236百万円)
- ・借入金の返済(▲75百万円)

純資産

- ・四半期純利益の計上(422百万円)
- ・利益処分による減少(▲134百万円)

流動負債	1,926	△1,215	3,142
固定負債	132	△30	163
負債合計	2,059	△1,246	3,305
純資産	3,414	283	3,130
負債・純資産 合計	5,473	△962	6,436

6. キャッシュ・フローの状況【個別】

(単位：百万円)

税引前当期純利益	712	
減価償却費	294	
売上債権の減少額	221	・売掛金の回収
棚卸資産の増加額	△ 165	・大型案件の開発による棚卸資産の増加
仕入債務の減少額	△ 499	・買掛金の支払
その他	△ 224	・成果配分賞与の支払
小計	339	
法人税等の支払額等	△ 411	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 71	
有形固定資産の取得による支出	△ 122	・ASPサービス用ハードウェア等の購入
無形固定資産の取得による支出	△ 259	・パッケージソフトウェア製品の開発
その他	△ 46	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 429	
短期借入金の返済による支出	△ 75	
配当金の支払額	△ 103	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 178	
現金及び現金同等物期末残高	1,202	

7. 主要な経営指標の状況【個別】

当社の目標とする経営指標

- ・株主資本比率 50%以上の維持
- ・(ROA)総資産経常利益率 20%以上(通期)

	単 位	2005年12月期	2006年12月期	(参考) 2006年3月期
株主資本比率	%	51.1	62.4	48.6
ROA(総資産経常利益率)	%	13.2	12.2	15.2
(売上高経常利益率)	%	(7.9)	(7.9)	(6.9)
(総資産回転率)	回転	(1.68)	(1.55)	(2.20)
ROE(株主資本当期純利益率)	%	18.9	12.9	23.9

そ の 他 指 標

	単 位	2005年12月期	2006年12月期	(参考) 2006年3月期
流動比率	%	137.7	170.4	133.1
当座比率	%	156.0	211.8	155.5
固定比率	%	40.4	40.8	49.5
借入金依存度	%	2.1	0.5	1.6

業績予想

1. 業績予想(2007年3月期)【連結】

(単位：百万円，%)

	通期予想 (今回修正)			前回予想 (11月8日発表)			前回 増減額	前回 増減率
	売上比	前年比		売上比	前年比			
売上高	12,100	—	—	13,000	—	—	▲900	▲6.9
売上総利益	2,393	19.8	—	2,586	19.9	—	▲193	▲7.4
営業利益	832	6.9	—	1,023	7.9	—	▲190	▲18.6
経常利益	785	6.5	—	985	7.6	—	▲200	▲20.3
当期純利益	457	3.8	—	570	4.4	—	▲113	▲19.8

◆1株当たり当期純利益(通期)

2007年3月期予想 14,507.94円

2. 業績予想(2007年3月期)【個別】

(単位：百万円，%)

	通期予想 (今回修正)			前回予想 (11月8日発表)			前回 増減額	前回 増減率
		売上比	前年比		売上比	前年比		
売上高	12,100	—	96.0	13,000	—	103.1	▲900	▲6.9
売上総利益	2,396	19.8	100.7	2,588	19.9	108.8	▲191	▲7.4
営業利益	847	7.0	91.2	1,038	8.0	111.7	▲190	▲18.4
経常利益	800	6.6	91.6	1,000	7.7	114.5	▲200	▲20.0
当期純利益	465	3.8	79.9	585	4.5	100.5	▲120	▲20.5

◆1株当たり当期純利益(通期)

2007年3月期予想 14,761.90円

2006年3月期実績 18,952.00円

◆1株当たり配当金

2007年3月期予想 普通配当 3,600円

2006年3月期実績 普通配当 2,600円 合計 3,300円

記念配当 700円

3. 業績予想(2007年3月期)【個別】

◆売上高業績予想修正理由(前回開示比較) 【900百万円減少】

①顧客都合による大型案件の次期へのずれ込み……………約5億円

②大型案件の増加による当期売上案件の受注減少……………約4億円

◆営業利益業績予想修正理由(前回開示比較) 【190百万円減少】

①売上高の減少

②主要顧客向け運用サービス撤退費用の想定以上の拡大

4. 事業別売上高・売上総利益の予想【個別】

(単位：百万円，%)

		通期予想 (今回修正)			前回予想 (11月8日 発表)			増減額	増減率
		構成比	前年比		構成比	前年比			
アウトソーシング 事業	売上高 (売上総利益率)	5,920 (22.1)	48.9	105.8	5,747 (24.8)	44.2	102.7	172	3.0
ソリューション 事業	売上高 (売上総利益率)	2,868 (17.5)	23.7	94.3	3,560 (17.8)	27.4	117.1	▲691	▲19.4
プロダクト事業	売上高 (売上総利益率)	1,315 (19.2)	10.9	163.0	1,510 (16.0)	11.6	187.1	▲194	▲12.9
ハードウェア販売 サービス事業	売上高 (売上総利益率)	1,195 (9.3)	9.9	97.2	1,428 (8.4)	11.0	116.1	▲232	▲16.3
その他事業	売上高 (売上総利益率)	799 (27.7)	6.6	41.4	753 (21.9)	5.8	39.0	46	6.2
売上高合計	売上高 (売上総利益率)	12,100 (19.8)	100.0	96.0	13,000 (19.9)	100.0	103.1	▲900	▲6.9

5. ポケットカードの運用業務終了への対策

ポケットカード運用業務年間平均売上高 …… 約10億円
平成19年2月をもって運用業務終了予定

安定収入であるアウトソーシング事業でカバーする

現在の状況

顧客	サービス内容	状況	概算金額
A社	運用サービス	内定	150百万円
B社	運用サービス	内定	100百万円
C社	保守・ヘルプデスク	内定	100百万円
D社	ASPサービス	内定	50百万円
E社	ASPサービス	内定	15百万円
F社	運用・管理サービス	商談中	350百万円
G社	運用サービス	商談中	300百万円
H社	管理サービス	商談中	85百万円
合計			1,150百万円

本資料お取り扱い上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

ヴィンキュラム ジャパン株式会社
管理部 財務IRグループ

e-mail : ir@mail.vinculum-japan.co.jp